



広報みまた



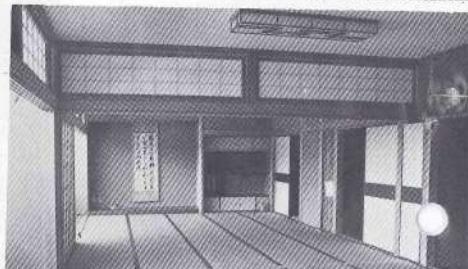
8/48

◆郷土に文化の芽をひとと、町民の眞の幸福を求めて完成した中央公民館は、冷暖房、照明とともに、巾広く使用していただくために各室も完備されています。これからはみなさんの心のオアシスとして気軽にご利用下さい。

写真は、夏の暑さも忘れて図書室で熱心に読書する小・中学生たち



開館を記念して催された山内多門先生の遺墨展
(郷土資料室)

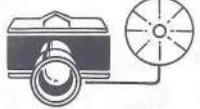


研修や会合などに広く利用できる準日本風の講堂



落ち着いたふんい気の中会議室

カメラ・ルポ



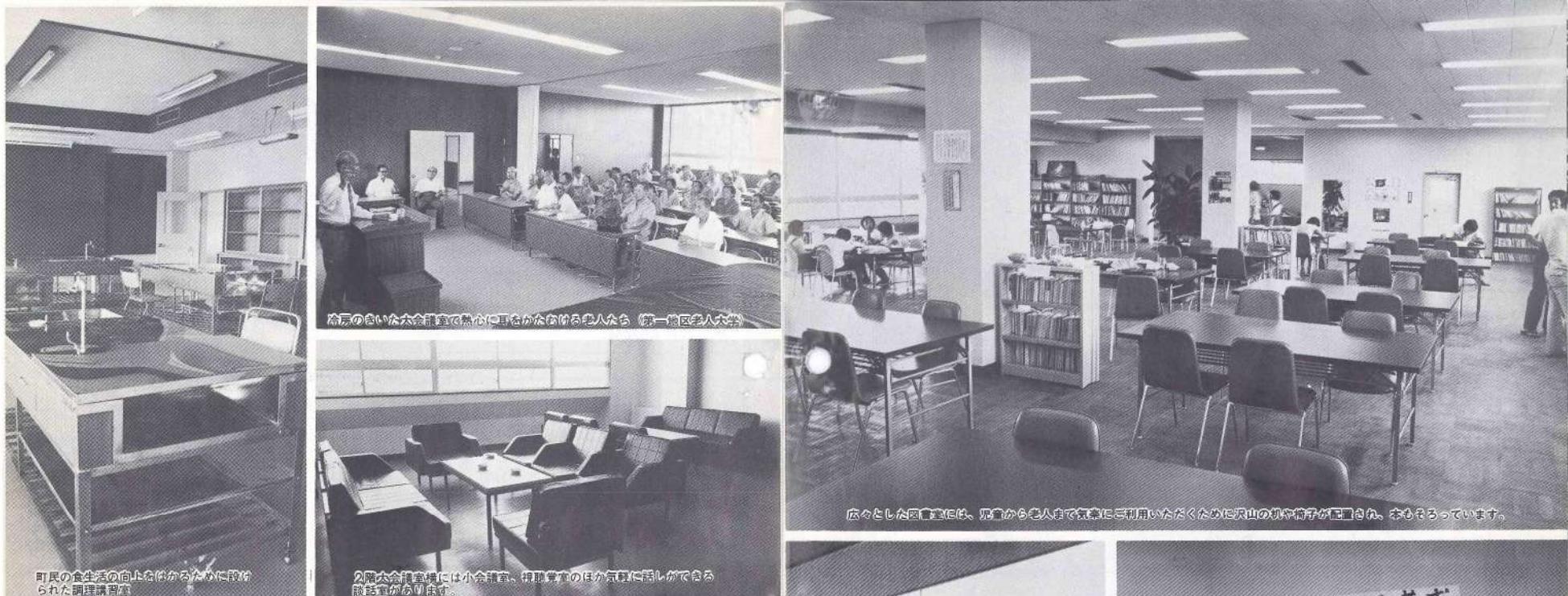
中央公民館が完成

緑と静かな環境の中に

文化の殿堂



近代化・緑の姿をあつめて完成した中央公民館全景

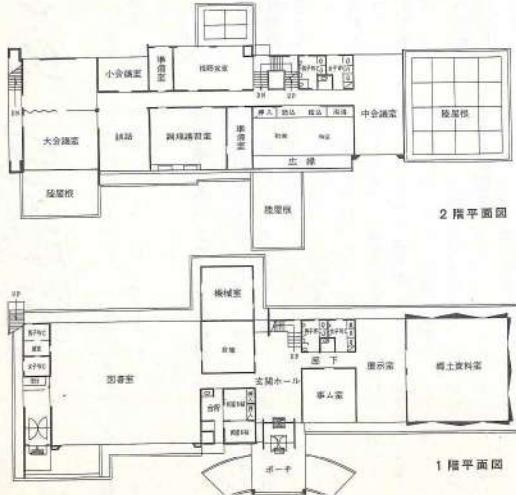


町民の食生活の向上をはかるために設けられた調理講習室

2階大会講堂には小会講室、複数会場のほか気軽に話しができる談話室があります。

広々とした図書室では、図書からも人まで気軽にご利用いただくために茨山の机や椅子が配置され、本もそろっています。

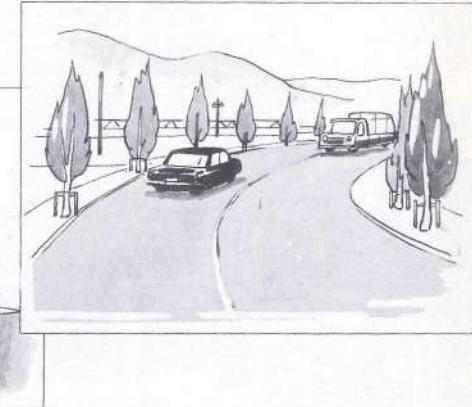
中央公民館案内図と工事概要



- 位置 宮崎県北諸県郡三股町大字桜山
3431-1
- 構造 鉄筋コンクリート造り 2階塔屋
- 規模 敷地面積 8,225.15m²
- 床面積 1階 794,736m²
2階 581,971.2
- 塔屋 24,840
- 計 1,401,547.2
- 建築面積 857,400
- 電気設備・高圧受電設備・動力設備
照明設備・自動火災報知設備
- 衛生空調設備・冷暖房設備・給排水衛生設備
- 電話設備
- 工期 着工昭和47年11月1日
竣工昭和48年5月31日
- 事業費 74,685,000円
- 設計監理 楠山建築設計事務所
- 施工者 主体工事 株式会社 松元工業
電気工事 九南電業株式会社
給排水工事 西村水道株式会社
空調工事 宮崎ダイキン空調株式会社
- 電話設備工事 九州電遠建設株式会社



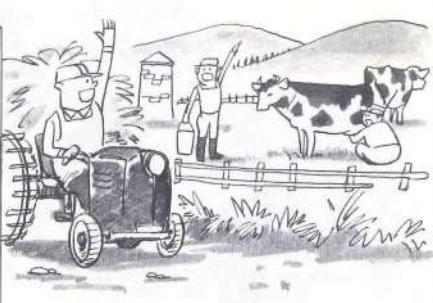
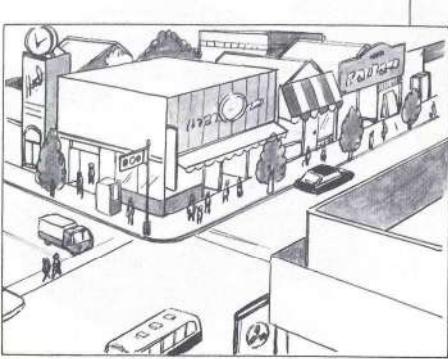
これからの中の三股町



これからの中の三股町



これからの中の三股町



これからの中の三股町

激動する日本の社会のなかで、なんといっても国民生活を支え、そこに方向を与えるものは「行政」であります。

本町では住みよい、豊かな、そして生きがいのある郷土の建設をめざして昭和三十九年に「三股町民憲章」を制定、さらに昭和四十一年には「健康文化都市」を宣言。次いで昭和四十六年には三股町の将来を位置づけようとした総合計画基本構想をまとめた。

この構想は、すべて町勢発展のためにとられた根本的態度であり、いわば「人間と自然の調和する理想郷をめざして、新しい三股町」を建設するための指針であります。

従来、この基本構想をもとに、特に本町の特性を生かした産業基盤の整備、社会生活の充実の向上、教育の振興、観光の伸展などの施策を強力に進めているところですが、さらには福祉政策に力を入れて、町民の眞の幸福のために努力をつづけることにしています。以下その概要をお知らせします。

□集落の整備

従来、本町では約三十の自然集落からなっていますが、昭和四十年に地域住民の自主開発をめざして七つの地区に部落を区分、公民館を中心とする公共施設の適正な配置と生活環境整備のための集落間の均衡を保つよう努力を続け、協力をお願いしているところですが、これからはさらに広域市町村圏事業計画中の基本集落圈をもとに、新しい時代に適合する生活環境の整備と公共施設の適正な配置をめざしています。

現に努力しているところであります。

去る五月待望の自動化をめざして自動改式工事に着手し、昭和四十九年四月までは、みなさんの期待に応えるべく完成することになっています。

なお、水資源の開拓は、家庭に限らず産業の構造変革によって需要は増しつつあります。

本町は、めぐまれた水田をはじめ、細目川、高畠川の清流に恵まれおり、何れも昔から水田をうるおし、産業などに欠くことのできない資源となるています。

しかし、あるときは水害に見舞われ、恐怖とみじめな年もありましたが、この復旧作業も額の費用を投じて多くの犠牲をはらい、立派に工事を進んで、今ではほぼ完成の域に達しております。

これからは、公害のない、産業、厚生の両面にわたる水資源の活用に力を入れ、いつまでも清らかな水の流れの開拓につとめることにしています。

一方、林業については本郷地城は最も生育に恵まれた条件の地にあって、昔から造林が盛んに行なわれています。昨今のわが国林業の諸情勢は外材

の輸入問題をはじめ、需要構造の変化、労働力の減少など、多くの問題をかかえて極めてきびしい現状に改善に真剣に取り組まねばなりません。幸い、今年は自然をまもり環境をよくしようと第三回全国植樹祭が盛大に行なわれた意義ある年であり、この機会に森林の経済機能を高めるため、先ず、林道を整備し、意欲的な造林の促進をはかることにしています。

□商工業の振興

本町は、都都市を中心とする広域経済圏のなかで小規模商工業地帯として発展して参りました。

しかし、特に商業においては小売業を主とする商店街も大型店の進出、モータリゼーションの進展等によって次第に事態は変化し、これからは経済基盤を整備しつつ土地資源の高度な活用と、郷土の特性に応じた産業を開拓し、新しい農業振興地帯の形成を積極的に進めるこにしています。

そこで、これから農業開拓の基本的条件は、農業基盤を整備しつつ土地資源の高度な活用と、郷土の特性に応じた産業を開拓し、新しい農業振興地帯の形成を積極的に進めるこにしています。

また、何よりも重要なことは、若い後継者をもつ「やる気のある農家」の基盤をつくり、生産性の高い農家を育てていくことがあり、これからは農政の新たな展開として、農業生産の再編成、農業の体質改善と高能率農業の育成、価格、流通対策の拡充強化に務めることにしています。

落中の均衡に力を入れ、この程完成した中央公民館を中心してコミュニティづくりに励むことにしています。

□道路（ネットワークの形成）

住民の生活水準は上昇し、生活の行動範囲が次第に広域化しつつあります。都市と農村地域との一体化をはかるには、まずもって道路を整備し、ネットワークを形成して、自動車の増加による交通安全施設の強化と道路の拡幅、改良舗装こそがよりも必要であります。従来、本町では他町村に先がけて、大巾に、しかも効率的に取り組んでおります

が、これからは広く地域住民生活の向上に資するのみならず、緑の空間を確保し、歩行者優先、大量輸送手段の開拓に努め、さらに道路を軸として沿道地域の土地利用、住民生活を良い方向に導びくべく発想の転換をはかることとしています。

□通信施設と水資源の開発

通信網施設の整備は、社会の高速化、情報化時代に対応して不可欠の要件であります。

特に産業、文化の発達は、通信施設の需要を増し、しかも長距離化し、情報的的確、迅速な交換が要求されて参ります。

これに応えるために、既に本町では普通電話三九台と農村集団電話九五一台、合計一、二八〇台が架設されて通信需要に応えているところですが、現在、その実態はますます大量化の方向にあり、電話の即時化自動化等の合理化と一世帯一電話の理想実現に向けた取り組みが進められています。

の輸入問題をはじめ、需要構造の変化、労働力の減少など、多くの問題をかかえて極めてきびしい現状に改善に真剣に取り組まねばなりません。幸い、今年は自然をまもり環境をよくしようと第三回全国植樹祭が盛大に行なわれた意義ある年であり、この機会に森林の経済機能を高めるため、先ず、林道を整備し、意欲的な造林の促進をはかることにしています。

□商工業の振興

本町は、都都市を中心とする広域経済圏のなかで小規模商工業地帯として発展して参りました。

しかし、特に商業においては小売業を主とする商店街も大型店の進出、モータリゼーションの進展等によって次第に事態は変化し、これからは経済基盤を整備しつつ、町商工会と密接に連携をはかり、いとりながら一貫した政策システムのもとに合理的で、しかも計画的に近代化の促進をはかるこにしています。

なお、町民に経済的ゆとりをもたらすため、しかも地域産業の振興の中核をなすものは工業の開拓であります。

本町は従来、農業をもつて地域発展に力をそそげたところですが、高度な経済成長のひずみの陰には農業との格差は増し、一方、農業生産は低下し、農業者の不安とこれが生活における動搖は増すばかりであります。これのきびしい現状のなかで地域産業の発展をはかるには、まず、土地の農業的利用と非農業的利用との調整をはかり、本町における土地資源と労働力の計画的かつ効率的な活用が必要であります。

従来、多くの工場を本町に誘致してますが、今まで農業構造改革と結びつけ農業生産と生活面の配慮の上に立った、しかも公害発生による生活環境の破壊については細心の配慮をしつつ、適正工場の誘致につとめ、豊かな町をつくりあげることにしています。

湯屋力淵の涼

県美術彫刻協会・彩無会所属
中馬純男

湯屋力淵。むかしは青い河童の住家だった。
この溪流を4~500のぼると、和銅元年(708年)創建という新磯六所権現(御崎神社のこと)がある。猿が住んでいて、河童との争いがたえなかつたらしい。安山岩の歓穴が、肌をむきだしながら、今なお砂や石ころを運んでは敷きつめつつある。洪積台地としてすわるが故に工場がたちやすい。店屋ができる~住居がふえる~雑居する現代の河童は、古里である淵を追われて人工プールで皿を冷やす。幸い。やや酸味のとれた蜜柑を食べる余裕が残る。ヤマメやウグイの住める場がある。

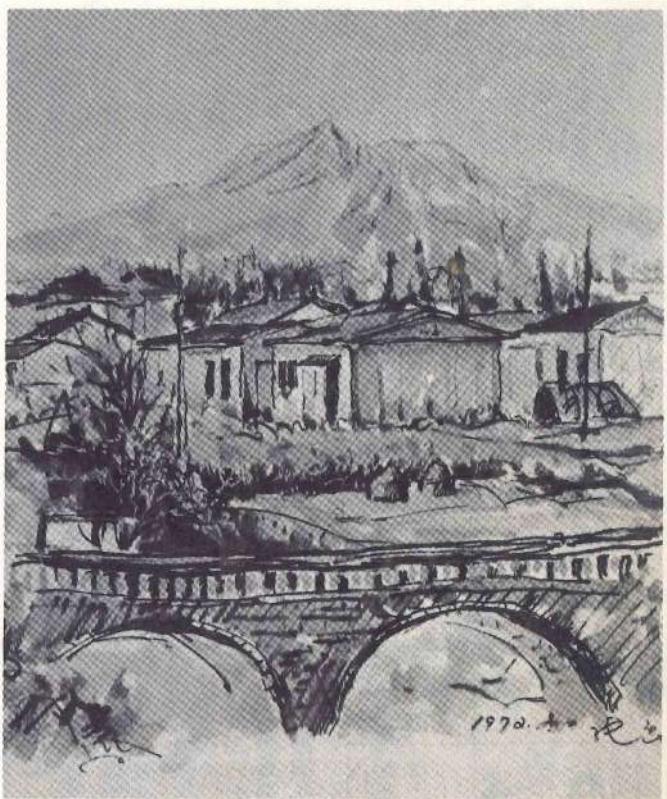
「静かなる 憇なりけり

山岸に

石をなでつつ時 経つと思う。」

一人秋超空の心境を借りるのはもったいない。陽西山に傾くとき、眼下の廢寺が黙し、右中景にもののふ攻防の夢を伝える雄鷹城がある。

展望はるか黒ずんだ高千穂峰まで見られる。探勝地だとは――。



テレビに雑音が入つたり
画面がゆれたりするときは
楽しくテレビを見ているときに、雑音が入つたり、画面がゆれることほど不愉快なことはありません。ツマミを調整してもなおならないときは、主に次のような原因が考えられます。

- (1)自動車や列車、飛行機などで電波がみだされる場合
- (2)テレビとアンテナを結んでいるフィーダー線がはずれかかっている場合
- (3)真空管の故障
- (4)隣近所で小型モーター(直流)を使用している場合(理髪、美容院、歯科医)
- (5)けい光灯の故障
- (6)高周波ミシンか治療器を使用している所の近所の方

いずれの場合も、もよりの電気店か電波障害防止協議会(事務局N.H.K.)にご相談ください。

三股町の人口

7月1日現在

男	7,418人	+ 32人
女	8,202	+ 35
計	15,620	+ 67
世帯数	4,611戸	+ 20

